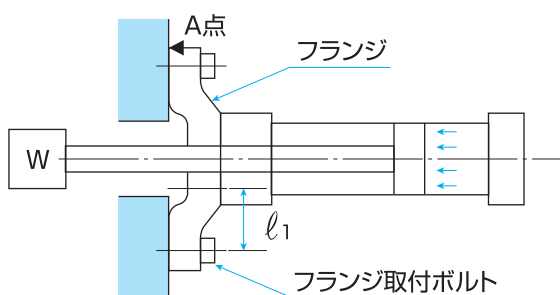


フランジ前面取り付けについて

FA取付フランジの向きによる強度は？

A パターン

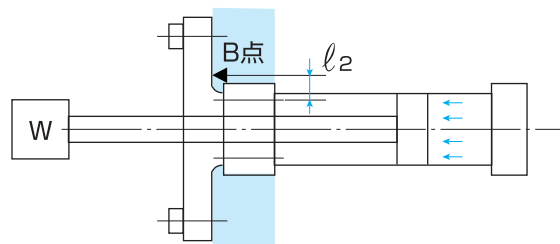
フランジ前面取付けで、押し側で使用する場合



- ①取付ボルトは、負荷に必要な推力がA点を支点として作用する。
- ②フランジにはモーメント長さ l_1 の曲げ応力が作用する。
⇒フランジの強度が必要になります。

B パターン

フランジ後面取付けで、押し側で使用する場合



- ①取付ボルトは、引き側（戻り側）の推力が作用する。
但し、極端にフランジ強度が不足する場合はB点を支点とする負荷に必要な推力が作用する。
- ②フランジにはモーメント長さ l_2 の曲げ応力が作用する。
一般的に $l_1 > l_2$ のため、押し側で使用する場合は
B パターンが優利です。
- A** パターンの場合は、フランジの強度UPを推奨致します。

本社工場 紹介



「ものの始まり何でも堺」と云われた堺市に堀内機械は始まり、現在も本社工場は堺市の中心街に位置しています。

本社工場は技術的なヘッドオフィスとしての役目と共に、大口径の標準シリンダや特殊シリンダの製作を担っています。

技術的に堀内機械全体を引っ張っていけるよう日夜、悪戦苦闘しております。堺に来られた際はお立ち寄り頂き、本社工場の扱う特殊・大型シリンダをご覧ください。

本社工場長 森口 隆幸

